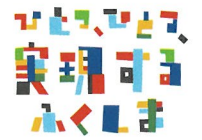


年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動



期間 令和7年12月10日^(水)から令和8年1月7日^(水)までの29日間

年間スローガン

わたります 止まるやさしさ ありがとう

令和6年度JA共済連福島県小・中学生
交通安全ポスターコンクール 審査委員特別賞
小学校1年生の作品



運動のスローガン

てをあげて くるまにおしらせ ぼくはここ

(一般財団法人全日本交通安全協会 令和7年使用 交通安全年間スローガン こども部門 内閣府特命担当大臣賞受賞作品)

運動の重点



- 道路横断中の交通事故防止
- 夕暮れ時や夜間の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶
- 高齢者が関与する交通事故防止
- 自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守



キビタン©福島県

主唱 福島県・福島県交通対策協議会



運動の重点



道路横断中の交通事故防止

- 道路を横断する時は無理な横断はせず、近くに横断歩道がある時は必ず横断歩道を渡りましょう。その際は手をあげる等、運転手に横断する意思を伝え、横断中も周囲の安全を意識しましょう。
- 横断歩道は歩行者優先**です。運転手は、横断歩道等の直前で停止可能な速度で走行し、道路を渡ろうとする歩行者や自転車を見かけたら必ず一時停止しましょう。
- 道路を横断するとき、横断歩道がない場所では**「車の通過を待つ」**、横断歩道はあるけれど信号機がない場所では**「車を止めて」**安全を確保する、横断歩道と信号機がある場所では**「青でも確認する」**等、**「横断事故防止の3段活用」**を取り入れましょう。



夕暮れ時や夜間の交通事故防止

- 午後4時を目安とした**早めのライト点灯**と、対向車等がいらないときの**上向きライト(ハイビーム)使用**による歩行者等の早期発見と交通事故防止について実践しましょう。
- 夕暮れ時や夜間に外出するときは、運転者から発見されやすいように、**明るい目立つ色の服装**にするほか、衣服、持ち物などに**夜光反射材用品等を着用**しましょう。
- ドライバーの皆さんは、ライトの照射距離・照射範囲には限界があり、歩行者などの発見が遅れがちになることを考慮し、昼間と同じ感覚で運転しないことや速度を抑えて運転することが大切です。



飲酒運転の根絶

- 飲酒運転は、重大事故につながる犯罪行為**です。絶対にやめましょう。
- 飲酒後は、絶対に車や自転車を運転しないほか、あらかじめ**ハンドルキーパーを決めておく**、**自動車運転代行を利用する**など飲酒運転防止に努めましょう。
- 泥酔者の寝込みや信号無視等を原因とする事故防止のため、**ひどく酔った方がいた場合は家まで送り届ける**など、最後まで責任を持ちましょう。



高齢者が関与する交通事故防止

- 加齢による身体機能の低下を認識し、体調不良時は運転を控えましょう。
- 少しでも運転に不安を感じた際は、**安全運転相談窓口#8080(シャープハレバレ)**等に相談をするほか、運転免許証の**自主返納制度の利用について検討**しましょう。
- 安全運転サポートカーへの乗り換え**や、**後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置の設置**を検討するなど、運転操作の誤りに起因する交通事故の防止について考えましょう。



自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

- ヘルメットの着用により、事故発生時の致死率が大きく下がります。自分自身や周囲の人の大切な命を守るため、必ずヘルメットを着用し、**「自転車安全利用五則」**等の交通ルールを守って安全走行しましょう。
- 令和8年4月から**自転車交通反則通告制度(いわゆる青切符制度)**が始まります。基本的な交通ルールやマナーについて家族や友人と話し合い、理解を深めましょう。
- 特に自転車利用時の「ながらスマホ」や「酒気帯び運転」は違反であることを認識し、安全に自転車を利用しましょう。

自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止
を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

県内の交通事故発生状況

区分	発生件数	死亡事故		負傷者	飲酒事故(人身)	飲酒事故(物損)
		件数	死者数			
令和7年 (10月末現在)	2,782件	43件	44人	3,434人	37件	178件
令和6年 (10月末現在)	2,407件	46件	46人	2,901人	36件	191件
令和5年 (10月末現在)	2,323件	43件	47人	2,717人	51件	244件

※飲酒事故(物損)については10月末時点の概数

これからの季節は、朝・夕に冷え込み、路面凍結している場合があります。路面の状態を確認し、慎重な運転を心がけ、スリップ事故を防止しましょう。

また、5分前の行動を心がけ、フロントガラスの霜を取ったり、屋根の雪を下すなど、安全に運転できる準備が整ってから出発しましょう。